

## 第4回大竹市地域公共交通活性化協議会

### 記 録 票

日時：平成26年3月20日（木）

午後2時00分～

場所：大竹市役所 4階第2会議室

出席者等：別紙「名簿」のとおり

## 1 開 会

### あいさつ

【小田会長】本日は第2期大竹市地域公共交通総合連携計画（案）のパブリックコメントを踏まえて連携計画を決定します。よろしくご審議をお願いしたい。

※広島県警の人事異動に伴い、今重委員の後任で住近良勝交通課長が委員に就任。

## 2 議 題

### (1) 第2期大竹市地域公共交通総合連携計画（案）について

#### ア パブリックコメントの実施結果について

【事務局長（吉田）】資料1により説明。

パブリックコメントは、第2期連携計画（案）を市HPに掲載したほか、市の情報公開コーナーや4つの支所に計画（案）を備え付け、2月17日（月）から2月28日（金）まで実施した。

意見は、3人から提出されたが、「資料1」のとおり、意見の内容ごとに6つに分け、いずれの意見も、第2期連携計画（案）の内容に関する意見ではないので「その他の意見」として整理した。パブリックコメントによる第2期連携計画（案）の変更はない。

#### ○質 疑 等

【岡田委員】「資料1」のNo.1の協議会の考え方で「近いうちに基準を設定したい」とあるが、具体的にはどのような内容か。

【事務局長（吉田）】現時点で確定したものはない。実証運行から本格運行へ移行する基準及び実証運行を打ち切る基準を想定しており、収支率などになると考えているが、具体的にはこれから検討したい。

【小田会長】具体的には決まっていないが、ただだと運行を続けられないための基準であると理解する。

【岡田委員】No.6の意見の前段のスーパーの話と、後段の全ての曜日の特色に関する話は、異なる話なのか。

【事務局長（吉田）】同じ意見と理解している。例えば、火曜日にポイントが5倍の店舗や、別の曜日に特売の店舗などの多様な情報を集めるという主旨だと考える。

【石本委員】協議会の考え方でルート変更を行わないことに関連して、現在、湯舟地区

では支線交通を運行しているが、高齢化が進みまもなく大半の人が車を利用できなくなる。支線交通を利用して、こいこいバスに乗り継ぐよりも 2 人で通常のタクシーを利用の方が割安になる。市も高齢化が進んでいる。湯舟地区だけでなく、いろいろな団地を救うために、例えば、こいこいバスのような乗り物を高台の団地まで運行するなど検討してもらいたい。

【小田会長】こいこいバスは、こいこいバスで運行して、例えば 4 本に 1 本を巡回する要望として理解する。

【石本委員】分科会では、小方ヶ丘へのルート変更について議論し、こいこいバスはルートを変更しないことになった。しかし、高齢化が進む中で、ルートについても検討してもらいたい。

【小田会長】パブリックコメントについて、その他意見はないか。この内容でよいものとする。

## イ 第 2 期大竹市公共交通総合連携計画（案）の修正点について

【事務局長（吉田）】資料 2，資料 3 により説明。

「資料 2」では、一部を除き、修正した箇所を赤字ゴシックにしている。また、「資料 3」に修正点をまとめている。

次に、パブリックコメント実施後に、事務局が修正したものとして、パブリックコメントによる修正はなかったが、漏れがあったものの追加や、わかりやすくするために字句を修正した。

先ほど紹介した、委員の変更については 19 頁の協議会委員名簿を修正する。

本日、修正等の意見があれば修正し、19 頁の第 4 回協議会の「出席者」「傍聴者」の人数を追加して、連携計画を策定する。

### ○質 疑 等

【岡田委員】22 頁以降の年の表記が「S」、「H」となっているが、2 頁で「H」を「平成」に変えたので統一してはどうか。

また、年には年がなく、月には月がある。どちらかに合わせてはどうか。

【事務局長（吉田）】「S」は「昭和」に、「H」は「平成」に修正する。また、月の欄の「月」は削除する。

【平田委員】25 頁の表のタイトルに、「平成 24 年以降」とあるが、意味はあるのか。

【事務局長（吉田）】特に意味はない。削除する。

【小田会長】この連携計画（案）を「第 2 期大竹市地域公共交通総合連携計画」として良いか。

【委員】異議なし

【小田会長】承認されたものとして「案」を外し、字句等の最終確認を行い、「第 2 期大竹市地域公共交通総合連携計画」とする。字句等の修正は事務局に一任する。

## 3 その他

【古川委員】栄ぐるりんバスのバス停について、前回協議会に挙げたが、その後解決策が

なく困っている。移設しかないと考えている。

先日、一般車両が駐車していたため、斜めにバスを停車し乗降したが事故が心配である。

また、発車前にバスが停車していないと、バスに乗らず歩いて帰る人が増える。

現在のバス停の位置では、商店に迷惑をかけ、消火栓もあり違反となるのではないか。

**【事務局長（吉田）】** バス停の移設については、こいこいバスのバス停を検討している。

**【古川委員】** 福屋前への移設については、福屋や中央クリニックに話をしたが、利用者が近くで降りられるなら良いことであると歓迎している。

**【事務局長（吉田）】** 事務局では、福屋や中央クリニックへ確認を行っていない。バス停の移設については検討する。

**【福水委員】** ひまわりタクシーの会議を地区で行ったが、出席者から市は要望を受け止めていないとの意見があった。協議会としては利用促進を図っている。いろいろと規制はあるが、地域の要望を踏まえて規制を緩和しないといけない。先ほどの団地への巡回バスも検討する必要がある。

乗合タクシーは現在チケット制で前もって購入する必要があるが、現金で利用できるようにならないか。チケット制だと10回利用しないといけないため、購入を避けてしまう。検討してもらいたい。

**【事務局（三上）】** 現金だと、利用人数の管理が難しい。チケットがあれば実際の利用が明確に確認できるが、現金だと把握できない。

**【福水委員】** タクシーの乗務員がチケットを持ち、利用があれば現金を受け取って、チケットを切れればよいのではないか。

**【片山委員】** 悪くとれば、利用が無いのに往復したことにでき、疑いを持たれる可能性がある。ただし、何か証明できるものを現金と一緒に渡すことができれば可能である。

**【岡田委員】** 通常と違い、タクシーの運転手がチケットを管理することはいかなものかと思う。

**【福水委員】** 先ほどの団地を巡回するバスの意見があったが、高齢化対策としては、乗合タクシーの利用が良いと考える。バスなら、バス停まで荷物を持って行く必要があるが、タクシーは玄関までくるので便利である。タクシーを上手く活用するのが望ましく、利用を便利にするよう検討してもらいたい。

**【小田会長】** 乗合タクシーのお金の流れについては、事務局と協議して頂きたい。ただし、利用を増やす方策については、検討していかないといけない。

**【傍聴者】** 高台に住んでいるが、今のこいこいバスは高台を団地は通っていないので検討してもらいたい。団地を回るバスは、ワンボックス程度の車両でよいと思う高齢者が増える中で車を手放した人も何人かいる。荷物を持って坂を上がることもできない。全てがフィーダーでよいかを検討する必要があると考える。

**【長谷川委員】** 例えば、朝夕のよい時間だけでも、バスを回すことができれば良いのではないか。

**【浅野委員】** 運行事業者から言うと、現在、運転手は労働基準法ぎりぎりで行っている

状態である。今よりも時間や距離を長くすることは難しい。

【小田会長】今よりも長くするならば、人や経費を増やす必要がある。

【片山委員】団地によってはバスが入れない道路もある。湯舟団地は、こいこいバスの車両で運行することは無理である。

【石本委員】車両はマイクロバス程度でよいと考える。タクシーは玄関までくるので便利であるが、もう少し気楽に乗れるようにすることが必要である。

【中村副会長】三ツ石地区乗合タクシーでも当初は、タクシーに一人で乗ることが勿体なくつらいという意見が多くあった。そのため、一人でもいいので乗ってくださいという話をずいぶんした。最近では、そういう意見は聞かなくなった。バスを入れるのはもっと大変であり、1便だけ入れても意味がなく、すぐに苦情が出ると思われる。それよりも、住民が生活リズムをバスやタクシーの時間に合わせる事が重要である。今は便利な生活に慣れすぎている。昔は皆、できていたはずである。生活のリズムを合わせるのは、それほど難しいことではないと考える。

【小田会長】乗合タクシーの会議をまとめるのは大変であるが、広報、周知も含めて、今後取り組んでもらいたい。

先日、元町の人からバスが無いと言われたが、100円バス(坂上線)が走っている。市も広報に取り組んでいると思うが、まだ十分周知されていないのが実態である。

【小田会長】事務局から何かあるか。

【事務局長(吉田)】協議会委員の任期は、大竹市地域公共交通活性化協議会規約第7条第1項により、2年となっている。現在の委員の任期は、平成26年3月31日で満了となるが、引き続き委員をお願いしたい。

また、現在、運転手の代表として、有限会社大竹交通から片山委員が就任しているが、有限会社大竹タクシーからも委員を選出したいとの申し出があったので、平成26年度から委員に就任していただく予定である。

【小田会長】その他連絡事項がなければ、平成25年度第4回大竹市地域公共交通活性化協議会を終了する。